

# 漢代国制の地政学的研究において基礎となる歴史地形図の作成

最終更新日：2016年7月12日

【プロジェクト代表者】  
社会科教育講座  
准教授  
杉村 伸二

## キーワード

・郡国制、歴史地形図、GIS

## プロジェクトの内容（目的・方法・結果と意義）

本プロジェクトの目的は、中国漢代における地形や郡・県データを盛り込んだ歴史地図を作成することである。

申請者が現在行っている中国漢代における国制の歴史的展開の考察を行う上で、漢代の歴史地図の利用は必要不可欠である。通常、漢代史研究においては、譚其驤主編『中国歴史地図集』を活用することが一般的であるが、地域ごとに分割しているうえに縮尺も統一されておらず、研究者がそれぞれの問題関心に即して加工して利用しているのが現状である。その際、多くの場合が白地図に河川の状況が記された程度のもので作成している。中国古代史専門の研究者は、地図作成に関する技能はさほど高くはなく、技術的限界もあって、簡素な地図しか作成できていない。一方で、現在の漢代国制史研究では、簡牘史料から地図や交通路に関する研究が進んでおり、また郡県の在り方についても、王国や侯国など封建制の要素も交えたいわゆる「郡国制」による地方統治の在り方や、それらが前漢二百年の時間的推移によりどのように変化したのかなど、多角的な視点からの考察が求められてきている。そうした多角的な視点から漢代国制の研究するためには、従来の白地図では対応しきれていない。そこで、本プロジェクトでは、地理学分野で活用されている地図作成用の専門的なソフト「ArcGIS」を用い、新たな歴史地形図を作製する。

本プロジェクトでは、今後の時間的推移によるデータ変化の集積までを視野に入れ、まずはその基礎となる地形図と郡県の位置に関する基礎的なデータを加えた漢代歴史地形図の作成を行う。

## 成果の応用可能性（私たちの活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。）

本研究で作成した基礎的な歴史地図に、中国の地形データを加えることで、漢代の郡県の状況を、政治的状况に地形を加えた地政学的な視点から考察することが可能となるだろう。さらに、郡国県侯国などの所属情報の時間的変遷を地形図の上でデータベース化する予定であるが、今後この地図の上に各県に繋る史料上の様々な情報を付加していくことで、総合的なデータベースに発展していくことが可能となる。例えば文献に登場する人物の出身地のデータベースを地図データベースに付加すれば、全国的な人材登用の傾向が地図上で可視化することができ、人事制度や官僚制研究にも新たな視座が得られるだろう。このほかにも位置に関連した様々な情報がこのデータベースのもとに統合可能であり、本研究期間にとどまらずその後の大きな展開につながるものと考えている。

## このプロジェクトの形成に寄与した制度等

平成27年度 福岡教育大学研究推進支援プロジェクト

## プロジェクト構成員（所属・職名・氏名・役割分担）

- ・社会科教育講座 准教授 杉村伸二 研究代表者  
研究の統括、地形図作成実施、研究成果の取りまとめ
- ・社会科教育講座 教授 黒木貴一 連携研究者  
「ArcGIS」の操作指導、地図取り込み作業の補助